

令和4年度学校評価

珠洲市立正院小学校

(1) 前年度の課題に基づく今年度の取組目標

✿ 令和3年度最終報告における本校の課題

これまでの取り組みを継続しながら、以下の4点について
重点的に取り組む必要がある

- ◇基礎基本の定着と学んだことを活用する力をつける
- ◇自信を持って活動に取り組む姿を育てる
- ◇体力の向上をめざす→個に応じた体力の課題に取り組む
- ◇業務改善の推進→業務の効率化



✿ 令和4年度の重点取組目標

①確かな学力の育成（創造）

目標1 確かな知識・技能を身に付け、活用力を高める

②豊かな心の育成（自主）

目標2 相手を思いやり、自信をもって積極的に行動できる子を育てる

③健やかな体の育成（健康）

目標3 体力の向上をはかる

④業務改善

目標4 業務を見直し、効率化をはかる

(2) 目標達成のための取組 担当 (道下・石尾)

① 確かな学力を育てる (創造)

目標 1

確かな知識・技能を身に付け、活用力を高める。

取組	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中に知識・技能の習熟を図る学習活動を取り入れる。 解法の手立て (ズバリ・お手本しずこ) を示す。 	
中間評価 A : 4クラス以上達成 B : 3クラス達成 C : 2クラス達成 D : 1クラス達成 達成クラスなし	評価指標	単元テスト (知識・技能) の正答率 (単元テストの全国平均をもとにした数値) 2年生…80% 3年生…75% 4年生…75% 5年生…70% 6年生…70%
A	取組の結果	1学期の単元テスト 知識・技能の正答率 2年生…95% 3年生…95% 4年生…86% 5年生…74% 6年生…85% 全クラス達成 <ul style="list-style-type: none"> 解法の手立てをもとに、自分の考えを持てるようになった。 授業の中で適用問題の時間が確保され、計算などの技能が身につけてきている。
最終評価に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 解法の手立て (ズバリ・お手本しずこ) を示す。 授業の中に知識・技能の習熟を図る学習活動を取り入れる。 学習した定義や用語を使いながら、自分の考えを表現する指導をする。 	
最終自己評価 A : 4クラス以上達成 B : 3クラス達成 C : 2クラス達成 D : 1クラス達成 達成クラスなし	評価指標	単元テスト (知識・技能) の正答率 <ul style="list-style-type: none"> 同一母集団の1学期の平均を-5%として算出 各学年の目標値 (0となる値) は下記の通り 2年生…90% 3年生…90% 4年生…81% 5年生…69% 6年生…80%
A	取組の結果	2学期の単元テスト 知識・技能の正答率 2年生…96% 3年生…92% 4年生…87% 5年生…72% 6年生…83% 全クラス達成
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> 学習した定義や用語を正しく使いながら、自分の考えを表現できるように、指導をする。 話し合いを通してよりよい答えを見つけ出せるように、相手に説明する力や質問する力をつけていく。 	
学校関係者評価委員からのご意見等		

②豊かな心の育成（自主） 担当（石尾・川崎）

目標 2

相手を思いやり、自信をもって積極的に行動する子を育てる

<p>取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を深める手立てとして「めざす正院っ子」の活用 ・地域との交流活動やたてわり班活動での人間関係づくり ・人権についての学習 	
<p>中間評価 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>評価指標</p>	<p><「めざす正院っ子」の達成率 > 各月の調査項目は以下の通り 4 月：授業の準備をする子 5 月：イスにしっかりすわる子 6 月：ていねいな字を書く子 7 月：時間いっぱいとりくむ子</p>
<p>A</p>	<p>取組の結果</p>	<p><「めざす正院っ子」の達成率 > 4 月：授業の準備をする子・・・97% 5 月：イスにしっかりすわる子・・・100% 6 月：ていねいな字を書く子・・・97% 7 月：時間いっぱいとりくむ子・・・100% 1学期平均・・・98.5% 学習や生活の基盤を整えることによって、落ち着いて学習に臨めたり、意欲的な学校生活を送ったりすることにつながっている。今後も継続した指導・支援を行うことで、規律ある学習・生活の場を構築していく。</p>
<p>最終評価に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事などの取組を通して、たてわり班活動や地域との人間関係づくりの充実。（メッセージ・手紙などで感謝を伝え合う） ・人権についての学習や思いやり・感謝の心を育む取組（人権週間を通じて相手を思いやる心を育む） 	
<p>最終自己評価 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>評価指標</p>	<p><児童アンケートの肯定回答 > ○「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」「ありがとう」など、家族や町の人、先生、友達にあいさつをしている。 ○友達に声をかけたり、進んで助けたりしている。</p>
<p>A</p>	<p>取組の結果</p>	<p><児童アンケートの肯定回答率 > ○「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」「ありがとう」など、家族や町の人、先生、友達にあいさつをしている。…100% ○友達に声をかけたり、進んで助けたりしている。…100%</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<p>学校での様々な機会（授業・休み時間・行事・校外学習）を捉えた取組を通して思いやり（感謝を含む）や自信をもった行動をすることができた。来年度も「めざす正院っ子」と「たてわり班活動」を中心に学校全体の活動を通して、心豊かな児童の育成を目指していきたい。</p>	
<p>学校関係者評価委員からのご意見等</p>		

③健やかな体の育成（健康） 担当（川崎・小西）

目標3

体力の向上をはかる

取組	スポチャレいしかわの3種目に挑戦し、体力の向上を図る。 <1学期> 40mリレー <2学期> シャトルボール <3学期> 8の字跳び 以上の3つを中心に取り組む。	
中間評価 A：3クラスが達成 B：2クラスが達成 C：1クラスが達成 D：達成クラスなし	評価指標	40mリレーの標準記録「ブロンズ」を達成できる。 2年生 … 12.20秒 3・4年生 … 11.20秒 5・6年生 … 10.55秒 ※複式学級は2学年の記録の平均を標準と考える。
A	取組の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で目標を達成することができた。3・4年生については目標タイムを大幅に超えて、標準記録「シルバー」を達成することができた。 ・全学年で種目には取り組んでおり、体力の向上に努めているが、種目に取り組む頻度にばらつきがあるため、日常的に取り組むことができるように取り組みを継続していく。
最終評価に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・長休みや昼休みなどを活用して、スポチャレの種目に全校で取り組む時間を設ける。 ・体育館に記録を掲示し、取組状況がわかるようにする。 	
最終自己評価 A：3クラスが達成 B：2クラスが達成 C：1クラスが達成 D：達成クラスなし	評価指標	シャトルボール・8の字跳びの標準記録「ブロンズ」の達成 2年生 … シャトルボール80回、8の字跳び100回 3・4年生 … シャトルボール85回、8の字跳び155回 5・6年生 … シャトルボール90回、8の字跳び215回 ※複式学級は2学年の記録の平均を標準と考える。
	取組の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に取り組む運動として設定したシャトルボールについては全学年で目標を達成することができた。新記録がでることに児童も喜びを感じる様子が見られ、意欲的に運動に取り組むことができています。 ※3学期の8の字跳びは現在取組を行っている最中です。
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期ごとに設定した目標をほとんどの学年が達成することができ、記録の向上も見られる。児童の実態に合わせて来年度も各学期ごとに取り組む運動を設定し、体力の向上を図っていく。 	
学校関係者評価委員からのご意見等		

④業務改善 担当（仲谷・北野）

目標 4

業務を見直し、効率化をはかる

<p>取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で取り組む定時退校日（第3水曜日・最終金曜日）以外に、マイ定時退校日を月に2度以上設定し、達成率を可視化する。 ・校務支援システムへの移行をスムーズに行えるように、職員が積極的に使える環境づくりに努める。 ・計画的な業務の推進を図り、職員会議の回数を減らす。また、会議の終了時刻を明確に示したり、先を見通した提案を心掛けたりして、効率的な会議の運営を目指す。 	
<p>中間評価</p> <p>A：120%以上 B：100%以上 120%未満 C：80%以上 100%未満 D：80%未満</p>	<p>評価指標</p>	<p><定時退校日取組実施率></p>
<p>A</p>	<p>取組の結果</p>	<p>4月…129% 5月…183% 6月…129% 7月…175% 8月…125%</p> <p style="text-align: center;">➡</p> <p style="text-align: right;">4～8月…148.2%</p>
<p>最終評価に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間外の在校時間が月45時間を超過している教員の割合を減らす。（4～8月平均16.6%） ・最終退校時刻19時30分を必ず守るようにする。 	
<p>最終評価</p> <p>A：10%未満 B：10%以上 15%未満 C：15%以上 20%未満 D：20%以上</p>	<p>評価指標</p>	<p><時間外勤務が月45時間を超過している教員の割合></p>
<p>A</p>	<p>取組の結果</p>	<p>9月…17%（1人） 10月…0% 11月…0% 12月…0%</p> <p style="text-align: center;">➡</p> <p style="text-align: right;">9月～12月…4.3%</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<p>限られた時間で業務を行う意識ができてきたので、今後も、定時退校日と時間外勤務の割合を目標にやっていきたい。</p>	
<p>学校関係者評価 委員からのご意見等</p>		